

管きょ工(開削)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
管路土工					
管路掘削					
機械掘削工（バックホウ）	0.28m3BH	別紙計算書より 133.5	133.5	130	m3
管路埋戻					
機械投入埋戻工（バックホウ）		別紙計算書より 83.8	83.8	80	m3
改良土（75mm以下）	DID無 L=5.0km以下	別紙計算書より 83.8	83.8	80	m3
発生土処理					
発生土運搬・処理	DID無 L=4.5km以下	$(35.3+83.8)/0.9$	132.3	130	m3
発生土運搬・処分	掘削量	133.5	133.5		
	砂基礎、埋戻し 改良土として利用	35.3+83.8	119.1		
	DID有 L=9.0km以下 差引	$133.5-(119.1/0.9)$	1.2	1	m3

管きょ工(開削)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
管布設工					
硬質塩化ビニル管					
硬質塩化ビニル管設置工	呼び径 200mm 20m以上	別紙計算書より 59.2	59.2	59	m
鋼製さや管	一般構造用炭素鋼鋼管 STK400 φ 318.5mm t6.0mm	1.0*1箇所	1	1	m
埋設標識シート	アルミ製ダブル折込、幅150mm	別紙計算書より 59.2	59.2	59	m
管基礎工					
砂基礎					
砂基礎工	機械施工 10m3以上(標準)	別紙計算書より 35.3	35.3	40	m3
改良土(20mm以下)	DID無 L=5.0km以下	別紙計算書より 35.3	35.3	40	m3
管路土留工					
軽量鋼矢板土留					
軽量鋼矢板建込工(両側分)	掘削深2.5m以下	別紙計算書より 33.0+28.0+1.0	62.0	62	m
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	掘削深2.5m以下	別紙計算書より 33.0+28.0+1.0	62.0	62	m

管きょ工(開削)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
軽量鋼矢板賃料	L=2.5m 1回使用 14日	別紙計算書より 1.34	1.34	1.3	t
	L=2.5m 2回使用 26日	別紙計算書より 7.25	7.25	7.3	t
	L=2.5m 3回使用 27日	別紙計算書より 0.27	0.27	0.3	t
土留支保工(軽量金属支保工)	設置 2段(3.5m以下) 水圧式パイプサポート	別紙計算書より 33.0+28.0+1.0	62.0	62	m
	撤去 2段(3.5m以下) 水圧式パイプサポート	別紙計算書より 33.0+28.0+1.0	62.0	62	m
腹起材質料	アルミ製 L=4000 1回使用 14日	別紙計算書より 8	8	8	本
	アルミ製 L=4000 2回使用 26日	別紙計算書より 24	24	24	本
	アルミ製 L=4000 3回使用 27日	別紙計算書より 4	4	4	本
切梁サポート賃料	アルミ水圧式 1回使用 14日	別紙計算書より 8	8	8	本
	アルミ水圧式 2回使用 26日	別紙計算書より 24	24	24	本
	アルミ水圧式 3回使用 27日	別紙計算書より 4	4	4	本
水圧ポンプ賃料	タンク水量15～19リットル	別紙計算書より 1	1	1	台

管きょ工(開削)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
開削水替工					
開削水替					
ポンプ 運転工	開削水替 作業時排水 発動発電機	別紙計算書より 8	8	8	日
据付・撤去工	開削水替	別紙計算書より 1	1	1	現場

マンホール工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
組立マンホール工					
組立1号マンホール					
組立マンホール設置工	1号マンホール 深さ3m以下 4箇所以上	別紙計算書より 4	4	4	箇所
鉄筋コンクリート組立1号マンホール I 種	底版 H=130	別紙計算書より 4	4	4	個
	管取付け壁 900×1500	別紙計算書より 3	3	3	個
	管取付け壁 900×1800	別紙計算書より 1	1	1	個
	直壁 900×300	別紙計算書より 1	1	1	個
	斜壁 600×900×450	別紙計算書より 2	2	2	個
	斜壁 600×900×600	別紙計算書より 2	2	2	個
調整リング φ600	H= 50	別紙計算書より 6	6	6	個
	H= 150	別紙計算書より 2	2	2	個
鉄筋コンクリート製組立マンホール調整金具	調整高25mmまで	別紙計算書より 2	2	2	組
	調整高45mmまで	別紙計算書より 2	2	2	組
人孔鉄蓋(デザイン)	φ600 T-25 除雪対応型	別紙計算書より 4	4	4	組
マンホール削孔費 1号(I 種)	塩ビ管用 径200用	別紙計算書より 2+2	4	4	箇所

マンホール工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
既設人孔可とう継手	VP φ 200 推進工法用	別紙計算書より 2	2	2	個
人孔用可とう継手	VU φ 200	別紙計算書より 4+2	6	6	組
底部工(組立式)	No. 93, No. 94, No. 95	別紙計算書より 3	3	3	箇所
	1号マンホール インバートのみ No. 92, No. 92-1	別紙計算書より 2	2	2	箇所

取付管およびます工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
管路土工					
管路掘削					
機械掘削工（バックホウ）	0.28m3BH	別紙計算書より 12.5+1.7	14.2	10	m3
管路埋戻					
機械投入埋戻工（バックホウ）	0.28m3BH	別紙計算書より 5.4+4.6+0.9+0.4	11.3	10	m3
改良土（20mm以下）	DID無 L=5.0km以下	別紙計算書より 5.4+0.9	6.3	6	m3
改良土（75mm以下）	DID無 L=5.0km以下	別紙計算書より 4.6+0.4	5.0	5	m3
発生土処理					
発生土運搬・処理	DID無 L=4.5km以下	$(5.4+4.6+0.9+0.4)/0.9$	12.6	10	m3
発生土運搬・処分	掘削量	12.5+1.7	14.2		
	砂基礎、埋戻し 改良土として利用	5.4+4.6+0.9+0.4	11.3		
	DID有 L=9.0km以下 差引	$14.2-(11.3/0.9)$	1.64	2	m3

取付管およびます工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
ます設置工					
ます					
ます設置工（塩化ビニル製）	φ 200 5箇所未満	別紙計算書より 3+1	4	4	箇所
掃除口保護鉄蓋（テッサイン）	φ 200用 T-14 台座付	別紙計算書より 3+1	4	4	組
取付管布設工					
取付管					
鋼製さや管	一般構造用炭素鋼鋼管 STK400 φ 267.4mm t6.0mm	3	3.0	3	m
取付管布設および支管取付工	φ 150 5箇所未満 3m以上5m未満	別紙計算書より 3	3.0	3	箇所
埋設標識シート	アルミ製ダブル折込，幅150mm	別紙計算書より 13.50+2.80	16	16	m
取付管（推進）（圧入式）					
硬質ポリ塩化ビニル管	一般管VP 径150 長4.0m	2.53/4	0.6	1	本
特殊支管	φ 150	別紙計算書より 1	1.0	1	個
特殊接合剤		0.900*1箇所/2	0	0.45	kg

取付管およびます工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
取付管推進工(圧入式)	取付管φ150 推進角度90°～55° 粘性土N≦10	別紙計算書より 2.53	2.5	3	m
コア抜き工及び支管取付	本管 塩ビ管 管厚100mm未満	別紙計算書より 1	1	1	箇所
塩ビ管挿入工	取付管φ150	別紙計算書より 2.53	3	3	m
中詰注入工	取付管φ150	別紙計算書より 0.08	0	0.08	m ³
推進用鋼製さや管撤去工(圧入式)	鋼製さや管φ250 推進角度90°～55° 粘性土 N≦10	別紙計算書より 2.53	3	3	m
推進設備工(地上設置)	撤去含む	別紙計算書より 1	1.0	1	箇所
中詰注入設備工		別紙計算書より 1	1.0	1	箇所

付帯工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
舗装撤去工					
舗装版切断					
舗装版切断	アスファルト舗装版 t=15cm以下	別紙計算書より 232.04+47.20+3.40	282.6	280	m
舗装版破碎					
舗装版破碎	アスファルト舗装版 t=15cm以下	別紙計算書より 349.87+27.20+1.26	378.3	380	m ²
殻運搬処理					
殻運搬	DID無 3.5km以下	別紙計算書より 17.49+1.36+0.06	18.9	19	m ³
廃材処理費	アスファルト舗装廃材	別紙計算書より 41.10+3.19+0.14	44.4	44	t

付帯工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
道路復旧工					
下層路盤					
下層路盤(歩道部)	ARC-40 (RC混合) t=200mm	別紙計算書より 65.00+9.63+1.26	75.9	76	m ²
表層					
表層(車道・路肩部)	平均幅員1.4m未満 ②粗粒度アスコン(20)	別紙計算書より 65.00+9.63+1.26	75.9	76	m ²
表層(車道・路肩部)	平均幅員3.0m超 ⑤密粒度アスコン(新20FH)	別紙計算書より 284.87+17.57	302.4	300	m ²
溶融式区画線					
区画線設置	溶融式手動, 実線 15cm, 白 外側線	61.0+8.6+6.0+1.6	77.2	77	m

管きょ工(小口径推進)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
低耐荷力泥土圧推進工					
推進用硬質塩化ビニル管(低耐荷力泥土圧)					
推進用硬質塩化ビニル管	No. 92-1→No. 92	40.55	40.55	41	m
	No. 92-1→No. 93	30.55	30.55	31	m
発生土処理					
発生土運搬・処分	No. 92-1→No. 92	$40.55 \times 0.194^2 \times \pi / 4$	1.20		
	No. 92-1→No. 93	$30.55 \times 0.194^2 \times \pi / 4$	0.90		
	計	$1.20 + 0.90$	2.10	2	m ³

管きょ工(小口径推進)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
立坑内管布設工					
硬質塩化ビニル管	φ 200mm				
推進用塩ビ管VP (SSPS) スパイラル布設工	No. 92 MH到達	0	0.0		
	No. 92-1	0.55+0.55	1.1		
	No. 93 MH到達	0	0.0		
	計	0.0+1.1+0.0	1.1	1	m

管きょ工(小口径推進)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
仮設備工(小口径)					
坑口(小口径)					
坑口工(小口径)	φ 200, 低耐荷力泥土圧 No. 92-1*2	2	2	2	箇所
既設マンホール坑口工	φ 200, 低耐荷力泥土圧 No. 92, No. 93	1+1	2	2	箇所
鏡切り					
鏡切り工	小型立坑(鋼製ケーシング)	2箇所*1.2m	2.4	2	m
推進設備等設置撤去					
推進設備工	設置 NO. 92-1	1	1	1	箇所
	据換 No. 92-1	1	1	1	箇所
先導体据付撤去工	分割回収 No. 92, No. 93	2	2	2	箇所

管きょ工(小口径推進)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
補助地盤改良工					
薬液注入					
二重管スレーナ工法	複相方式, 2セット No. 92上流	5	5	5	本
	複相方式, 2セット No. 92-1下流	5	5	5	本
	複相方式, 2セット No. 92-1上流	5	5	5	本
	複相方式, 2セット No. 93下流	5	5	5	本
注入設備据付・解体工（車上）		1	1	1	現場

立坑工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
管路土工					
管路埋戻					
砂基礎工	管床・管周・管頂	1.13+1.31	2.4	2	m ³
改良土（20mm以下）	DID無 L=5.0km以下	上記と同じ 2.44	2.4	2	m ³
機械投入埋戻工（ハックホ）		3.77	3.8	4	m ³
改良土（75mm以下）	DID無 L=5.0km以下	上記と同じ 3.77	3.8	4	m ³
発生土処理					
発生土運搬・処理	DID無 L=4.5km以下	(2.44+3.77)/0.9	6.9	7	m ³
発生土運搬・処分	掘削量	13.86	13.9		
	砂基礎、埋戻し 改良土として利用	2.44+3.77	6.2		
	DID有 L=9.0km以下 差引	13.86-(6.21/0.9)	7.0	7	m ³

立坑工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
鋼製ケーシング 式土留工及び土工					
鋼製ケーシング 圧入掘削					
圧入掘削積込み工	φ 2000, 粘性土N≦5 No. 92-1	3.999-舗装厚0.05	3.95	4	m
ケーシング溶接工	φ 2000 No. 92-1	1	1	1	箇所
ケーシング引上げ工	φ 2000 No. 92-1	1	1	1	箇所
ケーシング撤去工	φ 2000 No. 92-1	1	1	1	箇所
	1箇所当り切断長	6.3m+(1.45m*4分割)	12.1		

立坑工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
矢板・鋼管スクラップ 控除	φ 1500 No. 92-1	1.45m*0.615 t	0.9		
	計	0.9	0.90	0.9	t
底盤コンクリート					
底盤コンクリート打設工	(30)-15-40(高炉) W/C≦55%	3.10	3.1	3	m3
うわ水排水工	No. 92-1	1	1	1	箇所
スライム処理工	No. 92-1	1	1	1	箇所
泥水運搬処分費	φ 2000 No. 92-1	1.2	1.2		
	計	1.2	1.2	1	m3

立坑工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
圧入掘削設備					
機械設置撤去工	φ 2000 No. 92-1	1	1	1	回
鋼製ケーシング 存置					
鋼製ケーシング 存置	刃先, φ 2000 No. 92-1	1	1	1	個
	鋼製ケーシング, φ 2000 No. 92-1	1. 450+1. 799	3. 249	3. 3	m
仮設ケーシング 損料等					
仮設ケーシング	φ 2000, L=2. 0～2. 5m No. 92-1	1	1	1	回
路面覆工					
覆工鋼材質料等					
円形覆工板設置工	φ 2000 No. 92-1	1	1	1	箇所

立坑工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
円形覆工板撤去工	φ 2000 No. 92-1	1	1	1	箇所
円形覆工板開閉工	φ 2000	1	1	1	回
	φ 2000	1+7+5+1	14	14	回
円形覆工板賃料（φ 2000）	φ 2000 No. 92-1	2月	2	2	月
	整備料	1枚	1	1	枚

仮設工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員	交通誘導員B 2人配置(交替1) 起終点各1人	別紙計算書より 1.00+13.52+8.15+6.52+5.14+0.15+1.11+2.51+0.89	39.0		日
		39.0日*2人	78.0	78.0	人日
		No, 92-1 1.00 立坑			
		No, 92～No, 92-1 13.52 推進工			
		No, 92-1～No, 93 8.15 推進工			
		No, 93～No, 94 6.52 開削工			
		No, 94～No, 95 5.14 開削工			
		支管取付部 0.15			
		取付推進工 1.11			
		舗装本復旧工・試験掘削工 2.51+0.89 開削工, 推進工			

運搬費(積上げ)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
仮設材運搬費					
仮設材の運搬(往路)					
	軽量鋼矢板 L=2.5m	8.86	8.86		
	支保工 115*80	1.36	1.36		
	覆工板	1.16	1.16		
	計	8.86+1.36+1.16	11.4	11.4	t
仮設材の運搬(復路)		往路と同じ 11.4	11.4	11.4	t
仮設材等の積込み取卸し費	積込み、取卸し(往復分)	運搬と同じ 11.4	11.4	11.4	t

事業損失防止施設費(積上げ)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
家屋調査費					
家屋調査打合せ協議		別紙計算書より 1	1	1	業務
現地踏査		別紙計算書より 1	1	1	業務
家屋調査	木造建物C W<70m2	別紙計算書より 1	1	1	棟
地下水観測費					
観測井	No. 92-1	3.61+1.0	4.6		
	No. 93	3.15+1.0	4.2		
	計	4.6+4.2	8.8	9	m
pH測定	1箇所当り採水回数 工事着手前	1回	1		
	1箇所当り採水回数 工事中	1回・日×1日・箇所	1		
	1箇所当り採水回数 工事終了後2週間まで	1回・週×2週間	2		
	1箇所当り採水回数 工事終了後2週間経過	2回・月×3ヶ月	6		
	1箇所当り採水回数 小計	1+1+2+6	10		

事業損失防止施設費(積上げ)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
	採水回数計	10回×3箇所	30	30	回
	1箇所当り公的機関 工事着手前	1回	1		
	1箇所当り公的機関 工事中	1回	1		
	1箇所当り公的機関 工事終了後2週間まで	1回	1		
	1箇所当り公的機関 工事終了後2週間経過	1回・月×3ヶ月	3		
	1箇所当り公的機関 小計	1+1+1+3	6		
	現場採水持込試験計	6回×3箇所	18	18	回
	1箇所当り現場採水試験 工事着手前	採水回数1回-公的機関1回	0		
	1箇所当り現場採水試験 工事中	採水回数1回-公的機関1回	0		
	1箇所当り現場採水試験 工事終了後2週間まで	採水回数2回-公的機関1回	1		
	1箇所当り現場採水試験 工事終了後2週間経過	採水回数6回-公的機関3回	3		
	1箇所当り現場採水試験 小計	採水回数(1+1+2+6)回-公的機関(1+1+1+3)回	4		
	現場採水試験計	4回×3箇所	12	12	回
試験掘削費					
地下埋設物調査	No. 92-1, No. 93, No. 94, No. 95	4	4	4	箇所

技術管理費(積上げ)

[illegible]

土工数量計算書

路線番号	人孔番号	管底高	地盤高	舗装厚	路盤厚	砂基礎厚	掘削深 B-A+E +0.007	平均掘削深 舗装厚を除く	掘削幅	土工長	機械掘削	埋戻(改良土)		矢板長	備考
		A(m)	3.26		D(m)	E(m)	(m)	H(m)	I(m)	J(m)	K(m3)	20mm以下 管床・管周 ・管頂 L(m3)	75mm以下 M(m3)		
863	No. 93	10.014	12.13				2.223						H= 1.364		
	No. 94	10.113	12.24	0.05	0.20	0.10	2.234	2.18	1.00	33.00	71.9	19.1	45.0	2.5	
863	No. 94	10.133	12.24				2.214						H= 1.384		
	No. 95	10.217	12.39	0.05	0.20	0.10	2.280	2.20	1.00	28.00	61.6	16.2	38.8	2.5	
	No.														
	No.														
	No.														
	No.														
	No.														
	No.														
	No.														
	No.														
	No.														
	No.														
	No.														
	No.														
	No.														
	No.														
										m	m3	m3	m3		
										61.00	133.5	35.3	83.8		

管布設工数量計算書

路線番号	人孔番号	マンホール種類	人孔内の 減 長	路線延長	管布設延長 (m)	削 孔		可とう継手		備 考
			3.26			φ 150 (箇所)	φ 200 (箇所)	φ 150 (箇所)	φ 200 (箇所)	
863	No. 93	組立1号マンホール	0.45	33.00	32.10		1		1	
	No. 94	組立1号マンホール	0.45						1	
863	No. 94	組立1号マンホール	0.45	28.00	27.10		1		1	
	No. 95	組立1号マンホール	0.45						1	
	No.									
	No.									
	No.									
	No.									
	No.									
	No.									
	No.									
	No.									
	No.									
	No.									
	No.									
	No.									
	No.									
	No.									
	No.									
	No.									
				m	m	箇所	箇所	個	個	
				61.00	59.20		2		4	

路面復旧数量計算書

路線番号	人孔番号	仮 復 旧					本 復 旧					舗装破碎 t≥15の時 (m2)	舗装切断 D+I (m)	舗装破碎 E+J (m2)	舗装殻 運 搬 (m3)	廃材処分 (t)	備 考
		舗装厚 A(m)	延長(土工) B(m)	幅(掘削幅) C(m)	切断長 D(m)	面積B*C E(m2)	舗装厚 F(m)	延長 G(m)	幅(影響幅) H(m)	切断長 I(m)	面積G*H J(m2)						
863	No.																
	No. 92	0.05					0.05	8.60	3.87	16.34	33.28		16.34	33.28	1.66	3.90	
863	No.																
	No. 92-1	0.05	2.00	2.00	8.00	4.00	0.05	6.00	3.90	13.80	23.40		21.80	27.40	1.37	3.22	
863	No. 93																
	No. 94	0.05	33.00	1.00	66.00	33.00	0.05	35.55	3.46	39.01	123.00		105.01	156.00	7.80	18.33	
863	No. 94																
	No. 95	0.05	28.00	1.00	56.00	28.00	0.05	29.30	3.59	32.89	105.19		88.89	133.19	6.66	15.65	
	No.																
	No.																
	No.																
	No.																
	No.																
	No.																
	No.																
	No.																
	No.																
	No.																
			m		m	m2		m		m	m2	m2	m	m2	m3	t	
			63.00		130.00	65.00		79.45		102.04	284.87		232.04	349.87	17.49	41.10	

土留工(矢板)数量集計表

路線番号	人孔番号	区間長 (m)	矢板型 3.26	矢板長	単位重量 (t/m/枚)	打込枚数 (枚)	打込重量 (t)	引抜重量(1本もの)										引抜枚数 (枚)	矢板切断 (m)	搬入 搬出 重量 (t)	備 考
								10回使用	9回使用	8回使用	7回使用	6回使用	5回使用	4回使用	3回使用	2回使用	1回使用				
								(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)		(t)	(t)	(t)				
863	No. 93	33.00	軽量Ⅱ型	2.5	0.0179	198	8.86											198		1.34	
	No. 94																1.34				
863	No. 94	28.00	軽量Ⅱ型	2.5	0.0179	168	7.52											168		7.25	
	No. 95															7.25					
863	支管取付部	1.00	軽量Ⅱ型	2.5	0.0179	6	0.27											6		0.27	
															0.27						
	No.																				
	No.																				
	No.																				
	No.																				
	No.																				
	No.																				
	No.																				
	No.																				
	No.																				
	No.																				
	No.																				
	No.																				
	No.																				
	No.																				
計		62.00																		8.86	

※矢板の搬入・搬出は同型同長のうち最長区間分を計上する。

土留工(支保工)数量集計表

路線番号	人孔番号	区間長 (m)	支保工 段 数 (段)	アルミ 支保工 (mm×mm)	単位重量	腹起重量	主部材 本 数 切梁材 腹起材 (本)												搬 入 搬 出 重 量 切梁材 腹起材 (t)	備 考
					切梁材 腹起材 (t/本)	切梁材 腹起材 (t)		11回使用 (本)	10回使用 (本)	9回使用 (本)	8回使用 (本)	7回使用 (本)	6回使用 (本)	5回使用 (本)	4回使用 (本)	3回使用 (本)	2回使用 (本)	1回使用 (本)		
863	No. 93	33.00		115×80	0.0078	0.281	36本											8本	0.062	
	No. 94		2		0.0301	1.08	36本										8本	0.24		
863	No. 94	28.00		115×80	0.0078	0.218	28本											24本	0.187	
	No. 95		2		0.0301	0.84	28本									24本	0.72			
863	支管取付部	1.00		115×80	0.0078	0.031	4本										4本	0.031		
			2		0.0301	0.12	4本								4本	0.12				
	No.																			
	No.																			
	No.																			
	No.																			
	No.																			
	No.																			
	No.																			
	No.																			
	No.																			
	No.																			
	No.																			
	No.																			
計		62.00																	1.36	

汚水枥及び取付管布設工数量計算書

設置場所		掃 除 口 汚 水 樹						取 付 管						
氏名	所在地	深さ	汚水樹径		保護鉄蓋・内蓋 T-14		備 考	タイプ	取付 管長	土工控除		土工長	((本管土被り+樹深)/2)	備 考
			φ 200	φ 300	φ 200	φ 300				本管掘削幅 の1/2	さや管 挿入延長			
①		1.0	1		1			B	3.30	0.50		2.80	1.00	
⑤		1.5	1		1			B	5.90	0.50		5.40	1.50	
⑥		1.0	1		1			B	5.80	0.50		5.30	1.00	
			箇所 3	箇所	個 3	個			m 15.00			m 13.50		

取付管土工数量計算書

氏 名	掘削深 (舗装厚を除く)	舗装厚	路盤厚	平均掘削幅	土工長	機械掘削	埋戻(改良土)		矢板長	備 考
							20mm以下 管床・管周・管頂	75mm以下		
	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m3)	K(m3)	L(m3)	(m)	
①	0.95	0.05	0.20	0.65	2.80	1.7	0.9	0.4		
⑤	1.45	0.05	0.20	0.70	5.40	5.4	1.7	2.7		
⑤	2.17	0.05	0.20	1.00	1.00	2.1	1.1	0.8		支管取付部
⑥	0.95	0.05	0.20	0.65	5.30	3.3	1.7	0.7		
					m	m3	m3	m3		
					14.50	12.5	5.4	4.6		

取付管路面復旧数量計算書

氏名	仮 復 旧					本 復 旧					舗装破碎 t≥15の時 (m2)	舗装切断 ④+⑨ (m)	舗装破碎 ⑤+⑩ (m2)	舗装殻 運 搬 (m3)	廃材処分 (t)	備 考
	舗装厚 ①(m)	延長 ②(m)	幅(掘削幅) ③(m)	切断長 ④(m)	面積②*③ ⑤(m2)	舗装厚 ⑥(m)	延長 ⑦(m)	幅(影響含) ⑧(m)	切断長 ⑨(m)	面積②*③ ⑩(m2)						
①	0.05	2.30	0.74	4.60	1.70							4.60	1.70	0.09	0.21	
⑤	0.05	4.90	1.00	9.80	4.90							9.80	4.90	0.25	0.59	
⑤	0.05	1.00	1.00	2.00	1.00	0.05	7.80	1.60	15.60	12.48		17.60	13.48	0.67	1.57	支管取付部
⑥	0.05	3.80	0.74	7.60	2.81	0.05	3.80	1.34	7.60	5.09		15.20	7.90	0.39	0.92	
		m		m	m2		m		m	m2		m	m2	m3	t	
		12.00		24.00	10.41		11.60		23.20	17.57		47.20	27.98	1.40	3.29	

1号マンホール組合せ表

人孔 番号	地盤高	上 流			流 入			下 流			マンホール 深	マンホール 深～ 床まで	マンホール 床深	底版 個	躯体ブロック				直壁ブロック						斜 壁			調整リング			調整金具		蓋	副管		備 考	
		管渠 番号	管径	管底高	管渠 番号	管径	管底高	管渠 番号	管径	管底高					900	1200	1500	1800	300	600	900	1200	1500	1800	300	450	600	50	100	150	25	45	110	上流側	流入側		
No. 92	12.15	863	200	9.405				863	200	9.385	2.77	0.17	2.94																								既設
No. 92-1	12.13	863	200	9.898				863	200	9.531	2.60	0.27	2.87	1				1	1							1		1		1	1		1				
No. 93	12.13	863	200	10.014				863	200	9.994	2.14	0.17	2.31	1			1										1	2			1		1				
No. 94	12.24	863	200	10.133				861	200	10.113	2.13	0.17	2.30	1			1									1		1		1		1	1				
No. 95	12.39							861	200	10.217	2.17	0.17	2.34	1			1										1	2				1	1				
No.																																					
No.																																					
No.																																					
No.																																					
No.																																					
No.																																					
No.																																					
No.																																					
No.																																					
														4			3	1	1								2	2	6		2	2	2	4			

家屋調査対象家屋調書

木造建物 (A・B・C)

氏 名	住 所	規格	対象家屋面積							対象工作物面積		備 考	
			W<70	70≦W<130	130≦W<200	200≦W<300	300≦W<450	450≦W<600	600≦W<1000	1000≦W	W<100		100≦W<500
①		A											
		B											
		C	1										
		D											
		A											
		B											
		C											
		D											
		A											
		B											
		C											
		D											
		A											
		B											
		C											
		D											
		A											
		B											
		C											
		D											
計		A											
		B											
		C	1										
		D											

※ A : 専用住宅、併用住宅、店舗、医院、診療所、共同住宅、寄宿舍
 B : 農家住宅、公衆浴場、劇場、映画館、旅館、病院、学校
 C : 工場、倉庫、車庫、体育館、畜舎、付属屋（但し、倉庫、車庫、付属屋等で付帯工作物は除く）
 D : 工作物（土間コンクリート、塀など）

推 進 工 集 計 表

項 目 立 坑	管底高	地盤高	マンホール種類	発進 ・ 到達	立抗長さ (m)	推 進 工				空伏せ工 管 布 設 延 長 (m)	削 孔		可とう継手		備考
					直 径 ・ 矢板の芯	路線延長 (m)	推進延長 (m)	管長 (m)	推進管 (本) 先頭・標準管 ・最終管		φ 150 (箇所)	φ 200 (箇所)	φ 150 (箇所)	φ 200 (箇所)	
No. 92	9.405	12.15	組立1号マンホール	既設到達	0.9					0.000		1		1	既設用可とう継手
～No. 92-1	9.531	12.13				42.00	40.55	1.0m管	41	0.550				1	
No. 92-1	9.898	12.13	組立1号マンホール	発進	2.0					0.550		1		1	既設用可とう継手
～No. 93	9.994	12.13				32.00	30.55	1.0m管	31	0.000				1	
No.			組立1号マンホール	既設到達	0.9										
～No.															
No.															
～No.															
No.															
～No.															
No.															
～No.															
No.															
～No.															
No.															
～No.															
計						74.00	71.10			1.100		2		4	

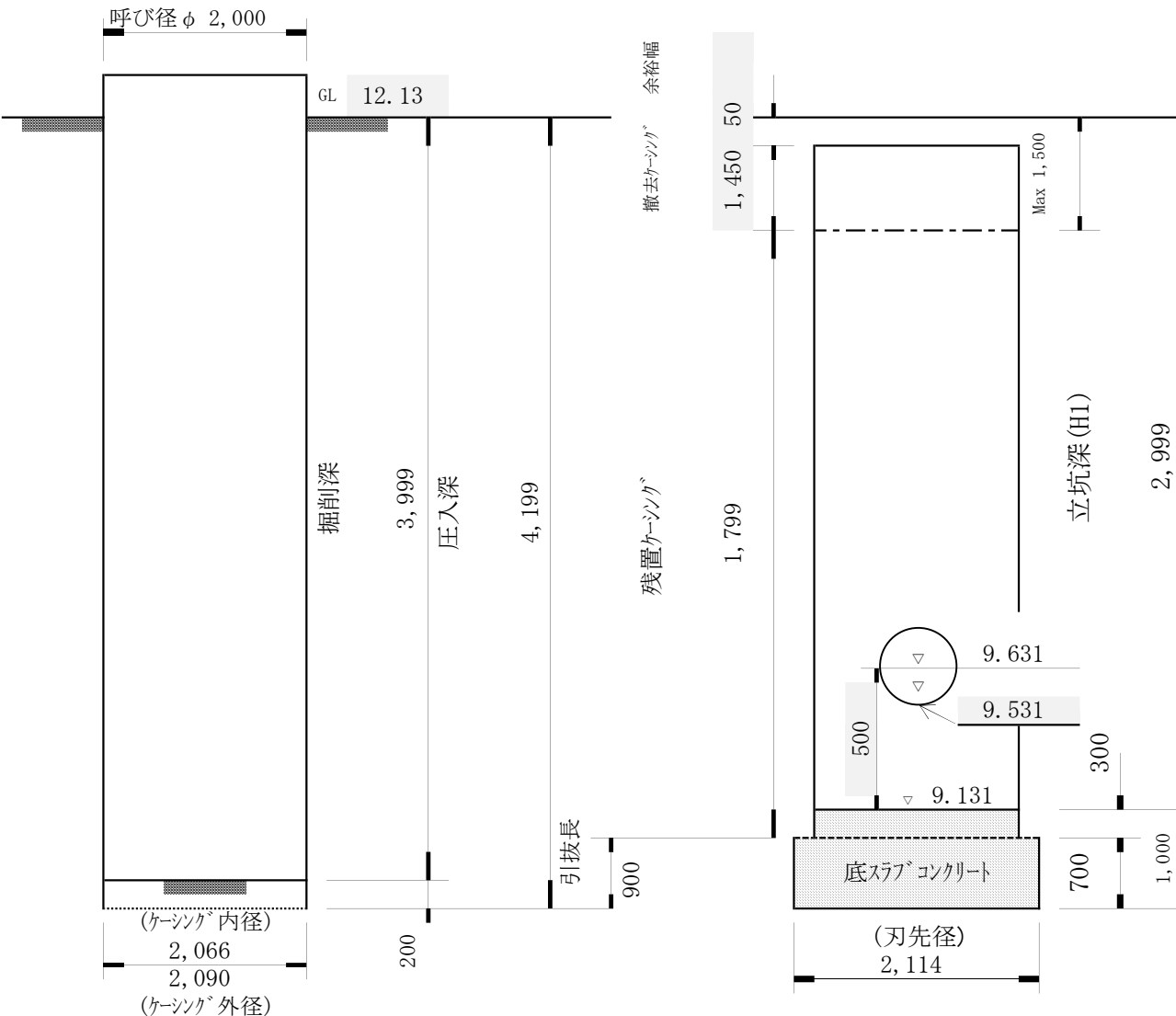
揺動式・回転式圧入立坑土留構造図 No. 92-1

ケーシング呼び径 2,000

本管径 φ 200

圧入掘削完了時

設置完了・埋戻し時



寸法・数量

呼び径	2,000
ケーシング厚 (mm)	12
ケーシング外径 (mm)	2,090
ケーシング内径 (mm)	2,066
刃先径 (mm)	2,114
周長 (mm)	6,528
単位重量 (kg/m ²)	94.20
m 当り重量 (kg/m)	614.9
m 当り掘削土量 (m ³)	3.51
底スラブコンクリート (m ³)	3.10
標準スライム量 (m ³)	1.20
刃先重量 (kg/個)	63.00

事業名		見附市公共下水道事業			
工事箇所		見附市		地内	
工事名					
図面番号				全枚数	
揺動式回転式土留立坑構造図				縮尺	
設計		調査		騰写	
新 潟 県 見 附 市					

掘削

No. 92-1 鋼製ケーシング式立坑土工

埋戻

鋼製ケーシング呼び径 ϕ 2,000

1 号マンホール

GL= 12.13

掘削深 H	3.949	現況舗装厚 = 0.05		復旧舗装厚 = 0.05		マンホール控除			
		マンホール外径(d) 1.05		復旧路盤厚 = 0.20		1. $\pi / 4 * d^2 * \text{埋戻高}$			
						$0.866 \times 1.658 = 1.436$			
						2. $\pi / 4 * d^2 * \text{管周り高}$			
						$0.866 \times 0.514 = 0.445$			
		空伏せ長さ = 0.475		空伏せ長さ = 0.475		3. $\pi / 4 * d^2 * \text{管下高}$			
		$0.866 \times 0.577 = 0.500$		空伏せ長さ					
		$0.48 + 0.48 = 0.95$							
		$\nabla 10.038$		平均 10.222		$\nabla 10.405$			
		巻立て高さ = 0.3		下流 平均管底 上流		巻立て高さ = 0.3			
		管内径(m)							
下流管底高 $\nabla 9.531$		0.200 9.715 0.200		上流管底高 $\nabla 9.898$					
		管厚(m)							
		0.007 0.007							
$\nabla 9.131$									
$\nabla 8.131$		底スラブ水中コンクリート 1.00 m							
必要高さ	0.500								

1. 掘削 (m当り掘削土量 \times H)

$$3.51 \times 3.949 = 13.86$$

2. 底スラブコンクリート

$$= 3.10$$

1. 埋戻 (ケーシング面積 \times 埋戻高一控除)

$$(改良土) \quad 3.142 \times 1.658 - 1.436 = 3.77$$

2. 管周り (ケーシング面積 \times 管周り高一控除)

$$(改良土) \quad 3.142 \times 0.514 - 0.480 = 1.13$$

3. 管下 (ケーシング面積 \times 基礎厚一控除)

$$(改良土) \quad 3.142 \times 0.577 - 0.500 = 1.31$$

薬液注入工数量計算書 (二重管ストレナ工法)

[illegible]

注入率 $\rho = (e/(e+1))$

[illegible]

1本当り注入量・1本当り施工時間

10.7	1.88
------	------

取付管推進工数量計算書(250－150)

設置場所		推進延長 (m)	取付管材料						取付管推進工											
氏名	所在地		特 殊 支 管 (個)	さ や 管 全 損 本 数		メタルクラウン 全 損 個 数 (個)	特 殊 接 合 剤 (kg)	塩 化 ビ ニ ル 管 (m)	取 付 管 推 進 工 (m)	コア抜き工 (箇所)	塩ビ管 挿 入 工 (m)	中 詰 注 入 工 (m3)	さ や 管 撤 去 工 (m)	作 業 坑 内 設 置		地 上 設 置		中 詰 注 入 工		備 考
				L=0.5m (本)	L=1.0m (本)									推 進 設 備 工 (箇所)	移 設 工 (回)	推 進 設 備 工 (箇所)	移 設 工 (回)	中 詰 注 入 設 備 工 (箇所)	中 詰 注 入 移 設 工 (回)	
④		2.53	1				0.45	2.53	2.53	1	2.53	0.08	2.53			1		1		垂直推進
合 計		2.53	1				0.45	2.53	2.53	1	2.53	0.08	2.53			1		1		

汚水枳及び取付管布設工数量計算書

設置場所		掃 除 口 汚 水 枳						取 付 管					
氏名	所在地	深さ	汚水枳径		保護鉄蓋・内蓋 T-14		備 考	タイプ	取付 管長	土工控除 本管掘削幅 の1/2	土工長	((本管土被り+枳深)/2)	
			φ 200	φ 300	φ 200	φ 300						掘 削 深	備 考
④		1.0	1		1			B	2.80		2.80	1.00	
			箇所	箇所	個	個			m		m		
			1		1			2.80			2.80		

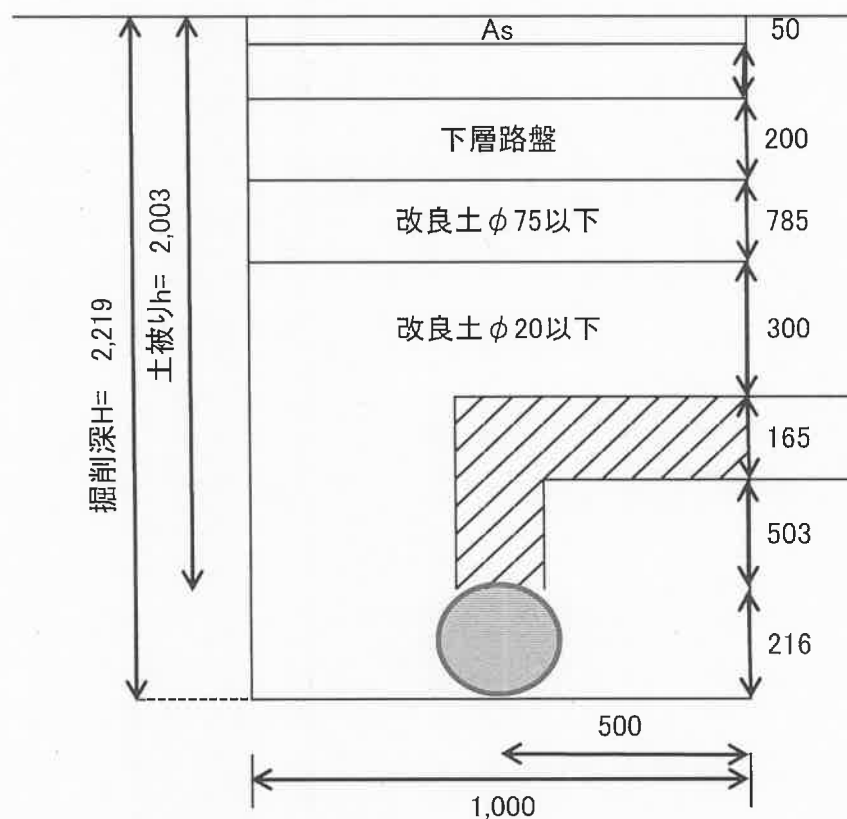
取付管土工数量計算書

氏 名	掘削深 (舗装厚を除く)	舗装厚	路盤厚	平均掘削幅	土工長	機械掘削	埋戻(改良土)		矢板長	備 考
							20mm以下 管床・管周・管頂	75mm以下		
	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m ³)	K(m ³)	L(m ³)	(m)	
④	0.95	0.05	0.20	0.65	2.80	1.7	0.9	0.4		
					m	m ³	m ³	m ³		
					2.80	1.7	0.9	0.4		

取付管路面復旧数量計算書

氏名	仮 復 旧					本 復 旧					舗装破碎 t≥15の時 (m2)	舗装切断 (4)+(9) (m)	舗装破碎 (5)+(10) (m2)	舗装殻 運 搬 (m3)	廃材処分 (t)	備 考
	舗装厚 ①(m)	延長 ②(m)	幅(掘削幅) ③(m)	切断長 ④(m)	面積②*③ ⑤(m2)	舗装厚 ⑥(m)	延長 ⑦(m)	幅(影響含) ⑧(m)	切断長 ⑨(m)	面積②*③ ⑩(m2)						
④	0.05	1.70	0.74	3.40	1.26							3.40	1.26	0.06	0.14	本復旧はNo.92に含む
		m		m	m2		m		m	m2		m	m2	m3	t	
		1.70		3.40	1.26							3.40	1.26	0.06	0.14	

⑤ 支管取付部



控除部分

$$\begin{aligned} & \pi D^2/4 \times (0.668+0.500-D/2) \\ &= \pi D^2/4 \times (1.168-D/2) \\ &= \boxed{0.023 \text{ m}^3} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \pi D^2/4 \\ &= \boxed{0.037 \text{ m}^3} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{掘削量} : & (2.219 \times 1.0 \times 1.0) - 0.050 \quad (\text{As}) \\ & - 0.037 \quad (\text{本管控除}) \\ & = \boxed{2.132 \text{ m}^3} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{改良土 } \phi 20 \text{以下} : & (1.184 \times 1.0 \times 1.0) - 0.023 \quad (\text{取付管控除}) \\ & - 0.037 \quad (\text{本管控除}) \\ & = \boxed{1.124 \text{ m}^3} \end{aligned}$$